



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
73

阿木川ダム

東濃用水と愛知用水の水源



▲洪水調整や新規利水など多目的な役割を持つ

ひと口メモ

1994（平成6）年の渇水では、貯水率が下がり、知多半島では1日19時間の断水が十数日間続くという記録的な大渇水に見舞われるなど、当ダムの貯水量は東海地方への影響が大きい。また当市の上水道（東濃用水と大崎浄水場）の水資源でもある。

国道257号沿いの東野にあるダム。木曾川水系の水資源開発の一環として、1991（平成3）年に完成した高さ101.5mのロックフィルダム。洪水調節や河川環境の保全、新規利水（最大毎秒4.0立方m）の供給を目的とした多目的ダム。新規利水は、東濃5市への東濃用水や名古屋市などの愛知県尾張地域と知多半島へ供給する愛知用水の貴重な水資源となっている。治水では、市街地などへの洪水調整としても重要。曲線でややアーチ型のロックフィルダムは珍しい、風光明媚な阿木川湖はダム湖百選にも選定された。



▲ややアーチ型のロックフィルダム

渡辺美佐子

現代版女城主

えな自慢
74



▲女城主として岩村城をPR

ひと口メモ

女城主とは、戦国動乱の時代に岩村城の攻防の中心人物であった遠山氏最後の城主景任夫人のこと。織田信長の叔母に当たる人物である。小野稔作の歴史小説「女城主」では、主人公お直の方として広く知られている。

岩村城の現代版女城主として町のPR役を担っている女優。1932（昭和7）年、東京都生まれ。実践女子学園高等学校卒業後、俳優座養成所第3期生となる。「家庭教師」で初舞台。1953（昭和28）年、「ひめゆりの塔」で映画デビュー。映画や舞台、テレビと総合的に活躍している。中でも一人芝居「化粧」は、1982（昭和57）年の初演以来600回以上、上演されている彼女のライフワーク。

母校の創立者の下田歌子の故郷が岩村町であったよしみで、1987（昭和62）年から岩村城の女城主になった。就任式は5月2日、女城主「登城の儀式」と銘打ち盛大に挙行政した。



▲一昨年に岩村町で行われた女性たちとの座談会

次号は6月15日号
発行日は6月15日(金)です

広報えな No.175
2012年（平成24年）
6月1日発行

発行 恵那市役所／編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111／☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☎info@city.ena.lg.jp

『広報えな』6月1日号、1部当たりの印刷経費は約6.9円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)
□問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

